

【東郷湖・未来創造会議】

第1回イベント・コンテンツ開発チーム会議 会議録

日 時 平成23年9月15日(木) 午後1時30分～4時

場 所 湯梨浜町役場 2階第3会議室

1. 出席者

委員) 林原 美穂子、矢信 聡裕、西原 秀昭、中村 健太郎、田中 裕行
小林 優貴秀、河村 祐子、佐々木 靖彦、立木 てる子、堀内 幸子
事務局) 山田 志伸、林 紀明

2. 説明事項

ワーキングチーム会議の進め方について、以下の通り説明する。(概略/事務局:林)

- ◆会議の時間は、2時間を目安とする。
- ◆ワークショップ形式(第1回未来創造会議と同様の手法)
 - 4～5人に分かれてグループ討議を行う。(2グループ)
(プロジェクトの重要な一員であるという主体的なイメージを共有する。)
 - 提言、アイデアをポストイットに記入し、模造紙に貼る。
 - お互いに発表し合いながら情報の共有を図る。
 - 最終的な取りまとめを行う。
 - グループごとに発表者を選定し、議論の成果を発表する。
- ◆東郷湖SWOT分析結果
 - 分析結果を模造紙大に拡大し、会議会場に貼り出す。
(左上:強み/右上:強みの発展/左下:弱み/右下:弱みの克服)
 - ①東郷湖の強み分析、②東郷湖の弱み分析、③弱みを克服する対策、④強みをさらに発展させる対策について振り返りを行う。(資料配布)
 - 分析結果は絶対的なものではない。議論が混迷した時に立ち返るため。
- ◆重点的に取り組むプロジェクトの視点(資料配布:詳細別紙参照)
 - 福井氏の「会議総括(中核となるプロジェクトの方向性)」をたたき台に議論を展開する。具体的なプロジェクトの検討、魅力づくりに取り組む。
 - イベント・コンテンツ開発チーム
 - ①参加体験価値の高いイベントの創造
 - ②町民参加の共育・協働システムの構築
 - ③その他
- ◆留意点
 - 第2回会議までのスケジュール
 - ◇ワーキングチーム会議提案取りまとめ:平成23年10月14日(金)

※議論の進捗により、随時ワーキングチーム会議を開催していただくよう要請。

◇全体集約：平成23年10月17日（月）までに整理、集約

◇協議：平成23年10月24日（月）までに福井氏と第2回会議の打ち合わせ。

◇第2回未来創造会議（中間総括）：平成23年10月28日（金）13：30～

□現段階では、財源のことは考えず、自由な発想を大事にする。

□最終的（中間総括）には、「事業名」と「事業内容」を整理する。

□第2回会議は、ワーキングチームごとに具体的なプロジェクトの発表の場とする。同時に、「町長の夢」も含めた形で、この「東郷湖・未来創造会議」の到達目標（ゴール）についての議論を行う。

3. チーム長あいさつ（小林 優貴秀チーム長）

こんにちは。台風が過ぎて、いい天気になるかなと思ったら、残暑厳しいといいますが、ものすごく暑い日が続きます。前回の会議の後に台風が来まして、湯梨浜町の東郷池が一躍有名になったというのが全国版のNHKで、朝一番に水がついたというニュースが出たみたいで、大丈夫かという電話が次々とかかかってきまして、大丈夫だと言ってその後に松崎の方へ行ったらやっぱり県道が通行止めになっておりまして、大丈夫じゃないよなと思いました。そういうところで有名になるのはあんまり嬉しくないんですけども、メディアが発表する色々な地域のことのいいところで発表されれば、どんどんいいことになるんじゃないかと思うので、メディアの使い方を上手にしていけば、このイベント・コンテンツチームの中でのこれから発言するような部分を上手に使っていけば、全国に通用するようなことがどんどんできるんじゃないかなという気がしました。今日は第一回目のワーキングチームの会議ですけども、先程話がありましたように10月14日までに中間取りまとめということで、今日話があまりまとまらないようであればまた皆さんにご足労していただいて、取りまとめをしていきたいと思っておりますので、今日はできるだけの意見を出していただいて、お話を進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

4. ワーキングチーム会議

（事務局：林）

それでは、時間的なことですけども、一応の目安を全体で二時間とっておりますので、今から一時間、皆さんでこういうことかある、ああいうことがあるということをお話し合っただけだと思っております。その後、チームごとに今日の成果の取りまとめをする時間をとりまして、最後にそれぞれのチームで発表していただくという流れでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。皆さんが必要であれば時間の延長をしてもいいと思っておりますけれども、次のご予定がある方もいらっしゃると思いますので、一応二時間を目安にさせていただきたいと思っております。

～ ワーキングチーム会議 ～



グループ討議の様子／イベント・コンテンツ開発チーム

5. グループ討議の結果発表

Aチーム、Bチームそれぞれ発表。以下、テーマ（福井氏指導）ごとに取りまとめ。

※Aチーム：「東郷湖の強み」「弱み」「弱みを克服する対策」「強みをさらに発展させる対策」をキーワードに、それぞれのテーマで何ができるのかを議論。

※Bチーム：「参加体験価値の高いイベント創造」「町民参加の共有・協働システムの構築」をキーワードに、それぞれのテーマで何ができるのかを議論。

[□：アイデア、提言／■：指摘事項など]

【参加体験価値の高いイベント創造】

<トライアスロン関係>

- 子ども用のトライアスロン競技の創設
- 親子で参加できるトライアスロン競技の創設
- 「梨（食物）」「温泉」「散歩」をセットにしたトライアスロン（泳ぐ／自転車／走る）的競技の創設
- トライアスロンを起点にするには学校等でもっと普及させる必要（小中学校の授業など）

<カヌー・ボート関係>

- カヌー体験＋宿泊＋学習ツアーの創設
- レジャー用としてカヌー、ボートの設置
- カヌー公園の整備（既存の公園の活用／エリア設定）

<マラソン関係>

- 東郷湖マラソン大会の復活
- 東郷湖マラソン大会参加者を対象とした「温泉」「梨」観光イベントの開催（ポンポン船の活用、梨狩り、入浴、食事などを組み合わせ）
- 気軽にできる往復コースの設定

<ウオーキング・サイクリング関係>

- 気軽に参加できるスタート地点の複数設定
- 休憩できる場所、スタート・ゴール地点の設定
- ウオーキング（観光）＋温泉入浴
- レンタサイクルショップの設置

<イベント関係>

- イベント情報誌の配布
- 既存イベントの温泉などのオプションを付与
- スタンプラリーを開催し、応募者に町の特産品を送付
- 既存イベント後に地元との交流イベントを開催
- 小中学校と連携したイベント企画、実施
- ウオーキング、サイクリングと文化財、植物探訪、探索との組み合わせ

- ヘルシーオリエンテーリングの開催
- 「湯梨浜歴史デー」の開催
(歴史講演会／史跡めぐり／歴史上人物のコスプレ／ミュージカルなど)
- マンガサミットと関連付けたイベントの開催
(天女コスプレ／天女サミット／ミス・ミスター天女コンテストなど)
- 旅行会社との連携によるツアー造成(湯めぐりツアー、食ツアー、散策ツアーなど)
- 御冠山絶景ビュー展望散策
- 「縄文海進が創った貴重な潟湖」を大切に保護するための啓発イベントの開催
- 「東郷湖一周を住民が手をつなぐ」イベントの開催
- 「東郷湖一周ロケット花火」イベントの開催
- 東郷湖水泳大会の開催(汚くても泳げる)
- 東郷湖周辺の耕作放棄地を利用したイベントの開催
- 競技種目を決め、大学や高校のスポーツ合同合宿イベントを開催
- 四季を通じた「食」のイベントを開催(旬の特産品を食材に使用)
- 倭文神社(下照姫命：安産／織物の神様)と羽衣石(天女伝説)をつないだ女性のためのイベントを開催
- 女性と緋のコラボ「働く人のファッションショー」を開催
- 温泉の女性限定無料開放デー(イメージアップによる女性の集客)
- 温泉地での朝市
- 郷土料理復活大作戦イベントの開催
 - ◇おばあちゃんに本物の郷土料理を作ってもらい、試食
 - 既存イベントを充実するため、地元の人への情報提供を
 - イベントを一部の人だけの開催ではなく、町全体でもっと共有していけるよう係り方、参加の仕方考えることが必要
 - 地元の人イベント情報を知らないことが多すぎる

<イベント／梨関係>

- 「全国一の梨産地」(町の特色としてPR)とイベントとのリンク
- 全国から参加者があるハワイアンフェスティバルなどのイベントを梨の収穫時期に変更
⇒梨の販売促進、知名度アップにつなげる
- 既存イベントと梨の作業や収穫体験をリンク

<サミット・シンポジウム・講演会関係>

- 潟湖サミットの開催
- 協働推進講演会、勉強会
- シンポジウムの開催
 - ◇町出身者の外から見た東郷湖

<体験プログラム関係>

- 都会の子どもたちをターゲットとした参加・宿泊型学習システム
 - ◇ 歴史・農業体験
 - ◇ 親子で参加する仕組みづくり
 - ◇ 地元の親子との交流イベント
- 都会の家族を呼んで宿泊体験
 - ◇ 地域との交流
 - ◇ 海、川、湖遊び
- 湖上温泉、露天風呂体験（東郷湖の中）
- 「カヤックの旅」体験（東郷湖／川）
- 各種体験
 - ◇ 舌つつみ体験
 - ◇ みどり体験（グリーンツーリズム）
- さくら工芸品工場の体験教室を活用（女性の体験できる場の確保）

<情報発信、宣伝関係>

- HPだけではなく、インターネットを活用した宣伝（ヤフーなど）
- 観光宣伝をもっと大きく
- 県内の主な観光施設にポスター



グループで議論した結果を発表

【町民参加の共育・協働システムの構築】

<自然景観・歴史文化関係>

- 東郷池の自然と歴史・文化遺産探訪ツアーの創設
 - 用途別：ウォーキング／サイクリング／車
 - コース別：半日コース／1日コース
 - 参加者別：個人／団体／ツアー客
- 展示会・講演会の開催
 - ◇「全国御倉サミット in 湯梨浜」の開催（橋津藩倉）
 - ◇文化財里帰り展示・講演会（銅経筒／銅鐸／馬ノ山4号墳出土品／東郷荘絵図など）
- 野花豊後花まつりの開催
- 藩倉まつりの開催（骨董市／テレビ番組の誘致）
- 文化財の有効活用
- 埋もれている歴史・芸能の復活（赤とんぼ／葉茂し歌－橋津藩倉）
- 縄文海進マップの作成
- 地域の物語や伝説を題材にした舞台・演劇
- 地域の物語や伝説本を作成

<テーマごとのコースづくり関係>

- 季節ごとのツアーコースの選定
- 季節の花コースの選定（野花豊後／トウテイランなど）
- 健康コースの選定
- 体験コースの選定
- 歴史コースの選定
 - ◇東郷荘絵図実感コース
 - ◇下照姫命コース
 - ◇羽柴秀吉・吉川元春対峙コース
 - ◇歴史・文化財コース（古墳／仏像など）
 - ◇歴史上の人物、物語をめぐるコース
- 解説書、案内図、案内板の整備
- 古墳など歴史文化資源が整備されておらず気付きにくい

<システム構築関係>

- 湯梨浜検定の開催
- 湯梨浜町の歴史・文化財検定の開催（小中学生用／大人用）
- ボランティアガイドの養成、システムづくり

【その他／他のワーキングチーム関連】

- シジミ公園の整備（既存の公園の活用／エリア設定）
- 子育て支援プロジェクト「湯梨浜版」の整備

- 環境問題にもっと取り組み、町ぐるみでモデル地区
- ウォーキング、サイクリング道路の整備
- 温泉地内の道路の両側にバリアフリー型の歩道設置
- 湯治温泉場の建設
- 常時利用可能な足湯ポイントの増
- 案内板の整備（総合、個別）
 - ◇イベント参加者に東郷湖周辺の名所（景観など）アンケートを取り、「ベスト〇〇」の紹介看板を設置
- 駐車場の確保
- トイレの設置
- 東郷湖周遊バスの運行
- よく見えるところに道の駅を建設
- 電気自動車充電スポットの整備
- お土産の開発
 - ◇藩倉の模型
 - ◇藩倉瓦せんべい
 - ◇経筒モナカ（アン：野花豊後／二十世紀梨など）
- 泊港の活用
 - ◇地元産の海産物販売店
 - ◇レストラン
- 魚を使ったイベント販売だけでなく、そこで食べることができる体制づくり
- シジミたまご
 - ◇ニワトリにシジミの殻を食べさせることで特化する
- シジミ料理（湯梨浜町に来ないと食べれない、味わえない）
- 東郷湖の「フナ」をブランド化
- 旅行会社への計画的な売り込みが必要
- 何を売り込むのかを明確にする必要
- 景観だけでなく、湖中の環境浄化に注意を向けるべき。見た目の「きれい」だけではダメ
- TCCに防災の避難所が載っていない
- 漁業権があっても、漁業組合の活動でシジミが守られていると思えばよい
- アクセスが悪いのは、反対に考えれば「はるばる来たぜ感」が味わえる。ここしかないものがあれば大丈夫
- 住んでいる私たちが水のきれいなこと、空気もいい、食べ物も安全、安心して暮らしやすいということを喜ばばよい
- 道の駅の工夫が必要
- 道の駅はわいの周辺や敷地内が汚い（草／ゴミなど）



グループで議論した結果を発表

(事務局：林)

今、それぞれ発表していただきましたけれども、何かお互いにご質問などはありませんか。

(佐々木 靖彦委員)

御冠山の展望を見るだけではなくて、そこは豊臣秀吉が、当時は羽柴秀吉ですけども、着陣した跡なんですね。ですから、羽柴秀吉とかたや馬ノ山の吉川元春の対峙跡コースだということがありまして、ある程度いい道をつけていただいて、御冠山に登って、そこから馬ノ山なり、東郷池や日本海を見てもらいながら、馬ノ山のところに行って吉川元春の陣を経験してもらうというコースがあり得るかなということ、ちょっと共通しているなと思います。考えを結び付ければ、さらに膨らむかなという感じがします。

(事務局：林)

今、二つのグループに分かれて色々と議論していただきました。こちらの説明不足もありまして、若干それぞれのグループのスタンスが違うというところもあります。一応参考ということでまとめた方向をペーパーでお渡ししていますけれども、具体的にまとめることができるものをまとめてというか、例えばシンポジウムならシンポジウム関連でまとめながら、大きな事柄としてまとめながら、戦略としてこういうものがありますよという大枠のくくりを最終的には取りまとめたいと思います。今日は、皆さんからこうした方がいいよとか、ああした方がいいよというご意見をうかがっていますので、今度はそれらをコンパクトにまとめるという作業をお願いしたいと思っています。私の方で、今日いただいたご意見をまとめ

ますけれども、再度、次回の会議を設定していただいて、もう少し具体的に深化させるような、まとめることができるような状況にまでもっていきたいと思います。そういうことでご了解いただけますでしょうか。

<委員了解>

今日は、皆さんの方から色々なご意見があったものと理解しておりますけれども、関連するようなものは関連するものでまとめていくという作業を次回していきたいと思います。今日ご欠席の方もおられますし、その方にも今日の会議の状況を報告したいということがありますので、何日か若干お時間をいただいて、その上で会議の日程を決めていただきたいと思います。皆さんがお集まりなので、もしよろしければ、今、日程を決めていただいて、こちらの方からご案内をさせていただくということでお願いします。申し上げましたように、10月14日を取りまとめの期限としておりますので、次の会議でまとまれば結構ですし、もう一回の会議ということも出てくるかもしれません。期限になるべく近づかないような形で決めていただければと思います。

<次回会議日程>

平成23年9月30日（金）午後1時30分～

来週には今日のご意見を取りまとめて、委員の皆さんの方にお送りさせていただきます。まとめたものを見ていただいて、どのようなことでくくれるかということをそれぞれが考えて、30日の次回会議に臨んでいただくということでお願いします。

（小林 優貴秀チーム長）

次の会議も二つのグループでしますか。次の会議は、皆で考えてきて、皆でまとめていくような格好でしましょうか。

<全体で協議>

（事務局：林）

細かくは書けないかもしれませんが、こういうご意見があったということを報告させていただきますので、それをご覧になっていただけたらと思います。福井さんの方から、大きく二つのテーマに向かってということがありますので、そういう方向性をもっていくことと、それ以外の部分、整理としては三つぐらいの形でと思っています。そして、こういう事業でこういう内容というところまでもっていきたいと思います。内容については、その方法の中に色々な事柄が出てきますから、それらは箇条書きでいいと思いますけれども、そういうことを取りまとめて、28日の第2回未来創造会議の時にこのイベント・コンテンツ開発チームとしてはこういう事業をということで提案をしていただきたいと思います。

（事務局：山田）

他のチームに関係するようなことがいくつか出てきていると思うんですけど、そういうのは別の意見として、このチームで他のチームに係るようなハード整備だとか、商品開発の話も出ていましたので、そういったものは別でまとめて、福井さんの二つのテーマとその他と

して、他のチームに係わることも含めてその他でまとめるという感覚の方がいいのかもしれませんが。

(事務局：林)

もし関連するようなことで、間に合えばイベント・コンテンツ開発チームからこのような意見が出ていましたということをお他のチームの方にも報告をさせていただきます。

その他、以下のことについて紹介する。

□全国都市緑化フェアが2013年に鳥取県で開催されること。

□天女サミットの開催事例。

それでは、第1回チーム会議を終了させていただいて、次回9月30日の時にはもう少し具体的に詰めていくということでお願いできたらと思います。

(佐々木 靖彦委員)

天女でまちおこしということに関しては、このグループで話があったんですけど、町長が天女にこだわっておられるというのが一町民としては少し懐疑があって、インターネットなどで見ていますと本当に九州から鹿児島まで、或いは外国の方まで天女に関係した色々なまちおこしみたいなものがありますよね。ですから、オリジナルということと言うならば、ちょっと難しいと思います。

(事務局：林)

色々なご意見があると思います。それで、冒頭少し申し上げましたけれども、それぞれのチームから色々な事業を提案していただくという格好になるんですが、それと合わせて町長の夢も同じテーブルにあげて、湯梨浜町としてどういう方向性でいくのかということをお二回目の未来創造会議の時に、一つのテーマとして皆さんにご議論いただく時間をとろうと思っています。本当は、大枠というものがあっての各論ということもあるかもしれませんが、今はフリーでその各論の部分を詰めていただいて、トータルでこういうふうにしていくというように流れをつくっていきたいと思います。町長がおっしゃったのは一つの思いですし、おそらくそれぞれのチームでそれぞれの思いというのが出てくると思いますので、それはまた次回の会議の時に皆さんで検討いただけたらと思います。それでは、皆さんの方でもしよろしければ終わりにしたいと思います。チーム長より最後に一言お願いいたします。

(小林 優貴秀チーム長)

今日は、お忙しいところお集まりいただき、ありがとうございました。色々な意見が出ましたし、こうやって色々なお話も聞けましたし、こんなにたくさんの文字を書いていただきました。これだけの皆さんの考えがあるということで、また9月30日にこれをまとめていくという作業にしていきたいと思いますので、健康にはくれぐれも気を付けて、出席していただきますようよろしくお願いいたします。今日はどうもご苦労様でした。